

発行所：一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
 〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 Tel.098-887-1270

発行人：仲地 賢 編集：広報部



「フ〜!!」(たんぼ保育園)



も く じ

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ● 第31回 沖縄県私立保育園連盟保育研究大会 …… 2P | ● 私保連まつり日程・子どものつぶやき …… 8P |
| ● // 分科会 …… 3P | ● 沖私保連の動き・秋の風景 …… 9P |
| ● 保育士の声 …… 3~5P | ● 編集後記・広告 …… 10P |
| ● 沖縄キリスト教短期大学との連絡会 …… 6P | ● 広告 …… 11~12P |
| ● 私保連「国へ向けた署名・カンパ運動」について …… 7P | |

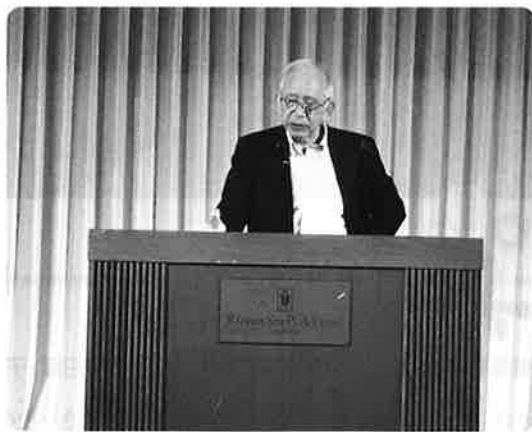
第31回 沖縄県私立保育園連盟保育研究大会

令和元年9月7日(土)第31回保育研究大会がリザンシーパークホテル谷茶ベイにて開催されました。(参加者492名)大会テーマを「子どもの育ちと保育園の役割」とし、仲地賢会長との挨拶の中で「保育界では、10月から無償化と給食費の実費徴収で各市町村では、その取扱いに困惑しているようです。法律の専門家ですえ難解といわれる保育制度がこの後、積上げ方式から包括方式へ移行されるのでは?という懸念も残され、その動向が注目され、大変憂慮されております。結びに、本日ご参会の皆さんのご健勝とご活躍、本大会での学びを各現場で活かせることを祈念いたします」とのお話がありました。



沖私保連 仲地 賢 会長

基調講演では「子どもの心を育てるために～なぜエピソード記述が必要なのか～」と題し京都大学名誉教授の鯨岡峻先生にご講演を賜りました。「真に子どもの心を育てることに向かうための「保育する」営みは、子どもと保育者の関係性の中に生まれるものです。その関係性の中核に来るのは接面(子どもと保育者の間に生まれた独特の空間)です。その接面も、接面で起こっていることも、目には見えません。そしてその「保育する」営みに従事している保育者は、その目に見えない出来事の当事者です。ですから、保育者がその接面で起こっていることを語らない限り、接面で起こっていること(子どものその時の心の動きや保育者のその時の心の動き)は第三者には分かりません。その接面で起こっている子どもの心の動きや保育者自身の心の動きのなかには、当の保育者の心が揺り動かされたことが含まれ、その思いを周りの人に分かってほしいと思うことがしばしばあります。それこそ保育者がエピソードを書いて、その時の出来事や自分の思いを周りの人に



鯨岡 峻 先生

伝えたいと思う瞬間の体験です。そしてそのようにして自分のその時の体験を文章に描き出したエピソードが、「保育する」営みの動態を周りの人に伝える唯一の手段なのです。

エピソード記述とは、保育者の体験を読み手に説明する上で必要な背景情報を記した<背景>、保育者の得た体験を中心にその時の出来事を読み手に分かるように描き出した<エピソード>、保育者がなぜその体験を周りの人に分かって貰いたいと思ったかの理由を記した<考察>から成るものです。ここで一番大事なことはこの3点セットの形式ではなく、「周りに分かってもらいたことがあった」ということです。

一人の保育者が自分の保育する営みをエピソードに描くのは、また描く必要があるのは、自分自身の保育する営みを振り返り、それを子どもにとってより良いものにするためです。

例えば、自分の保育する営みのある場面について、「養護の働き」は十分だったか、つまり、接面から感じ取ったその子の思いをしっかり受け止めたか、その時のその子の気持ちを分かってあげられたか、その子のことを認めていることがその子にしっかり伝わったか、あるいは「教育の働き」は十分だったか、つまり、その子の興味を引き出すような誘いかけになっていたか、その子のやりたいという気持ちに沿った課題提示だったか、その子が自分でいけなかったと思えるような叱り方だったか、等々、いろいろな振り返りの観点があって、それがエピソード記述を書く動機になっているはずです。そのような振り返りは、保育する皆さんにとっては欠かせないものでそのためにエピソードを描く必要があるわけですが、描いて終わりではなく、描いたエピソード記述を他者に提示し、他者に読んでもらうことによって、自分の振り返りをさらに吟味することが必要です。そうしてはじめて、自分の保育する営みの問題点に気が付き、それをより良いものにすることができるのです。」ご講演後、参加者の質疑に対しても丁寧にお答えいただき、更なる学びに繋がった講演となりました。

それがエピソード記述を書く動機になっているはずです。そのような振り返りは、保育する皆さんにとっては欠かせないものでそのためにエピソードを描く必要があるわけですが、描いて終わりではなく、描いたエピソード記述を他者に提示し、他者に読んでもらうことによって、自分の振り返りをさらに吟味することが必要です。そうしてはじめて、自分の保育する営みの問題点に気が付き、それをより良いものにすることができるのです。」ご講演後、参加者の質疑に対しても丁寧にお答えいただき、更なる学びに繋がった講演となりました。

講演後、参加者の質疑に対しても丁寧にお答えいただき、更なる学びに繋がった講演となりました。

分科会

分科会では、3つの分科会においてこれまでの研究成果を発表しました。

第1分科会

◆助言者 琉球大学 准教授 岡花 祈一郎 氏

「その“ずれ”なんだ?」
～同じ想いで子育てを～パート2

実りの里保育園
(北部ブロック)

◆発表園

「事例から考える保護者支援」
～保護者支援を全保育者で～

おおたけ保育園
(那覇ブロック)



第2分科会

◆助言者 沖縄キリスト教短期大学 准教授 糸洲 理子 氏

「保育に見える化するには」
～保護者との保育の共有化～

百合が丘保育園
(中部北ブロック)

◆発表園

「保育園内での感染症発生を阻止する」
～ワクチンで防げる病気はワクチンで防ぐ～

しいの実保育園
(中部南ブロック)



第3分科会

◆助言者 沖縄女子短期大学 准教授 柳生 崇志 氏

「豊年あそびを通して誇りある
豊かな心と丈夫な身体を」
～あこがれのキムドンドン～

緑ヶ丘保育園
(先島ブロック)

◆発表園



2019年
連載企画



保育士の声

* 随時原稿募集中 *

『思いやりの心を持って』

上江洲 美穂 (夢の子保育園)

子育てと同様に悩みはつきもの。一人ひとり性格も違う。親も違う。そんな中でどう保育するか日々悩み、やってみよう精神でいるんなことに挑戦する中で、少しずつ変化があり成果が見られやりがいを感じています。子ども達が沢山の人のとうまく関わられるよう社会性も高める中、相手を思いやる気持ちを大切に出来るよう、保育士同士、クラスのパートナーとも言葉にして、「ありがとう」「お願いします」「大丈夫?」「お疲れ様」「一緒に頑張ろうね」「お互い様」等素直な気持ちを伝え合うように心掛けています。子ども達も保育士もみんな一人の人間。皆考えや行動が違って当たり前!! だからこそ、豊かな心、思いやり、優しさをもって保育をしていきたいと思っています。

『保育士になって思う事』

安里 香菜恵 (夢の子保育園)

短大を卒業し、保育園に勤め早いもので15年が経ちました。右も左もわからない私に優しくアドバイスしてくれたり、温かく見守ってくれる先輩や、悩んだり落ち込んだ時に共感励ましてくれる同僚や後輩に支えられ、子ども達と楽しく過ごしています。保育をしていく中で、上手いかず「どうしたらいいのだろう」と落ち込む事も多々ありますが、子ども達の笑顔や何気ない仕草や言葉に元気をもらったり、助けられているのも子ども達のおかげです。日々、子ども達から学び、成長させられています。これからも一人ひとりの子ども達と向き合い、子ども達の笑顔を大切にしながら楽しく過ごしていきたいと思っています。





『保育の仕事』

松村 唯（夢の子保育園）

母は、私が生まれる前から、保育の仕事をしています。母の働いている姿を子どもながらに大変さを感じながらも、何か魅力を感じ、今では私も保育士になりました。あっという間に月日が経ち、結婚し、子育てを経験していく事で、大変さもありますが、保護者の気持ちに気付き、共感、手助けができ、また子ども達の楽しく遊ぶ元気いっぱいの笑顔に成長していく姿を日々感じ、やりがいを感じながら楽しく保育をしています。保育士という仕事を教えてくれた事、親として感謝の気持ちを忘れずにこれからも、母と保育の楽しさを共有し、保育士として頑張っていきたいと思います。

『保育士になって思う事、感じる事』

渡嘉敷 匡哉（向陽保育園）

私が保育士になって感じた事は、自分を活かす事の難しさと大切さです。机上で学んできた事を踏まえ、自分らしさをどのように表現し、どのように保育に取り入れていくか常に葛藤してきました。1年目は仕事に慣れることに精一杯でしたが、2～3年目になると男性という性別を活かした保育にチャレンジするようになったと共に、先輩方からも色々な事にチャレンジするきっかけを与えてもらえました。そこから自分がやりたい事をどのような形で表現していくかを考えるようになり、自ら色々な事に取り組み始めました。もちろん苦しんだ事もありますが、周りのメンバーに支えられ、評価され、プラスになる経験を多くできたからこそ乗り越えることができました。自分を活かすという事は簡単なことではないですが、支えてくれるメンバーがいるからこそ自分が自分らしく輝けるんだと感じました。子ども、職員一人ひとりが輝けるようにまずは僕から輝いていきたいと思います。

『人生のセカンドステージで
保育士への転職』

新城 清美（向陽保育園）

私は45歳で保育士資格を取り保育園で働いて2年目になります。もともとは旅行業界に憧れ、添乗員として仕事を楽しんでいましたが、出産を機に事務系の仕事へ転職し4人の子どもの育てながらこれまで働いてきました。もちろん子どもたちを保育園に預けて成り立つ生活で、保育園の先生方には本当にお世話になったと心から感謝しています。仕事と育児の両立は毎日がてんでこ舞いでありながら、幸せそのものです。そんな中、子育ての終わりが近づき、喪失感にかられて保育士への転職を決心。安い決心ではありますが、できる限りの時間を勉強にあて保育士資格を取得しました。今は汗だくになり子どもたちと遊んで学んでいます。そんな私から見える保育業界は、過酷な労働環境にあり、保育者職員が身を削るように働いて成り立っているように感じます。保育士不足のなか、保育者の疲弊が保育の質を下げてしまうことのないよう今後の政府の対策や業界の情勢に期待したいです。

『子どもの不思議』

仲村 知子（たんぽぽ保育園）

「子どもってなんて小さい人だろう」保育士を目指す前の私は、小さい子どもを間近で見る機会があまりなく、結婚した兄に子どもが生まれ、甥っ子が誕生し、子どもと触れ合う機会が増えた。小さい手、ハイハイをする身体、よるめきながらも一生懸命立ち上がる姿、ストローをくわえて飲み物を吸い上げる力、ひとつひとつに感動していた。子どもの不思議に感動した私は、保育士となり、子どもたちと触れ合い、笑い、そして葛藤する日々である。

『憧れの保育士』

比屋根 夏代（たんぽぽ保育園）

私が通っていた幼稚園は、年上の子が年下の子の面倒を見るという仕組みでした。準備や活動中、決められているペアの子の手助けやわからない事を教えてあげていました。自分も小さいながらも、その子の面倒を見ることが楽しくて、可愛くて、園では本当の妹のように可愛がっていたなあということを今でも思い出します。小学校高学年になると、いとこの赤ちゃんが生まれました。親戚が集まる時には、喜んでお世話をしたりあやしたりして、その子が成長していく姿を見るのが会う度に楽しみになっていました。親戚でお出かけする時にはよくその子の側にいて、見守ったり遊ばせていました。その様子を見ていた叔父、叔母に「あなたが見てくれていると安心だね～」と言われた事が凄く嬉しく、誇らしかったのを覚えています。将来の夢を考え始めた時には、保育士という仕事が憧れの仕事になっていました。

『保育士になるきっかけは』

宮本 麻衣子（たんぽぽ保育園）

私が保育士を目指そうと思ったきっかけは、高校生の時に行った地域の幼稚園でのじゃがいも掘りでした。じゃがいもと一緒に収穫した子どもたちの無邪気に喜んでいる姿に感動し、将来は子どもと関わる仕事がしてみたい。と感じるようになりました。短大を卒業し、いざ保育士として働いてみると、大変なこと、失敗し落ち込んだこともあり、ちゃんと保育士として出来るかなと不安になることもありました。でもここまで続けられたのは、子どもたちの真っすぐな心に惹かれ、子どもたち一人ひとりの成長を近くで見ることができ、一緒に遊んで笑えるからです。また乳児クラスで保育した時には、初めての出来事をパートナーと共感したり、喜んだり保育士同士の絆ができました。私はまだまだ未熟です。これからも良い所を吸収して沢山学んで、成長していこうと思っています。

『目標に向かって』

照屋 奈央（こくら保育園）

私は現在、0歳児の担任をしています。0歳児の成長はとても著しく、週があけるとハイハイできるようになっていたり、「てんてん」と喋れるようになっていたり、日々子どもの成長を感じられてとても楽しいです。私は将来、子ども一人ひとりの個性が十分に発揮できる環境を作ることができる保育士を目指しています。そのためには、子ども一人ひとりを理解し、子どもがやってみたいと思えることを環境にさりげなく取り入れたりしながら、子どもが主体的に行動できる環境を作っていきたいです。今はまだ保育士として未熟である部分もたくさんありますが、先輩保育士たちにアドバイスを頂きながら、私が目指している保育を実践し、磨いていけるように日々頑張っていきたいと思います。

『初任者保育士として』

儀間 柚香（聖マルコ保育園）

私は聖マルコ保育園12期卒園児で、小さい頃から自分より年下の子が好きなのでずっと保育士になりたいと思っていました。いつか保育士になったら聖マルコの素敵な先生達と一緒に仕事をしたいと思い、短大の保育所実習では2回とも聖マルコ保育園に受け入れをしていただきました。そして、3月に短期大学を卒業し、4月から聖マルコ保育園で働いています。実際に保育士として働いてみると、楽しいことばかりではなくたくさん悩みも出てきました。一人ひとりの子どもたちと向き合って子どもの話に耳を傾けたい、子どもたちに毎日笑顔で接したい、そんな理想を持って就職しました。しかし現実自分の仕事をこなすのに精一杯で気持ちに余裕がない、子どもが話を聞いてくれない、子どもたちへの注意が多くなる、名前を呼んで「おいで」と言っただけで注意されるのではないかと身構えられる。理想と現実のギャップに日々

『保育士でいることに感謝』

弓場 かおり（杉の子保育園）

保育士になって16年。20代の頃は「保育士って大変。私にできるだろうか」と不安ばかりがあり、一度は保育現場を離れ、別の仕事をしましたがやりがいを感じず、また保育の仕事に戻りました。30代になって自分自身が母になり子育てしていく中で、保育士という仕事がどれほど大切で子どもたちにとって保護者にとっても、私たちの存在がいかに大きいのかということを改めて実感し、今は保育士という仕事が楽しく、日々の保育の中で出来るようになった姿や大きな行事を通して子どもたちの成長した姿を見た時の達成感や充実感を味わえた時は、保育士で良かった！また頑張ろう！という気持ちにさせてくれます。子どもの成長を慌てない・ゆっくり・楽しく過ごすことを心がけ、子どもたちが夢を持てるように、子どもの居場所・心のよりどころを作り一人ひとりの夢が叶えられるお手伝いができる保育士でありたいと思います。

私は現在、0歳児の担任をしています。0歳児の成長はとても著しく、週があけるとハイハイできるようになっていたり、「てんてん」と喋れるようになっていたり、日々子どもの成長を感じられてとても楽しいです。私は将来、子ども一人ひとりの個性が十分に発揮できる環境を作ることができる保育士を目指しています。そのためには、子ども一人ひとりを理解し、子どもがやってみたいと思えることを環境にさりげなく取り入れたりしながら、子どもが主体的に行動できる環境を作っていきたいです。今はまだ保育士として未熟である部分もたくさんありますが、先輩保育士たちにアドバイスを頂きながら、私が目指している保育を実践し、磨いていけるように日々頑張っていきたいと思います。

葛藤していました。そんな時に、お昼の園内研修でその悩みを話すと「今日一日お名前を呼んでいない子はだれ？」「その子たちがいつもお話をきいていないんじゃない？」と言われ、まさにその通りでした。「いつも注意される子は自分を見て欲しいというサインを出してる」と言われ、子どもにすぐ申し訳ないと思いました。そして、主任の先生から「子どもに謙虚になる」という言葉をいただきました。注意ばかりではなく子どもに「先生はこうして欲しいんだけど、どうしたらいい？」と質問するといった言われ、やってみると少しずつ話を聞いてくれるようになりました。私は、これから子どもの気持ちをしっかり聞くことのできる保育士になりたいと考えています。その為に、日々の会話の中からしっかり心と体を向けて聞き、どうしても手が離せない時は「さっきのお話なんだっ？」と自分から声かけをできるようになりたいです。聖マルコ保育園は素敵な先輩、同僚がたくさんいますので、その方達の良いところを真似して自分の中に取り入れていきたいなと思います。まだまだ未熟ですが頑張っていきたいです。

沖縄キリスト教短期大学との保育者養成等に関する連絡会

2019年8月26日(月) 沖縄キリスト教短期大学との保育者養成等に関する連絡会が行われました。沖私保連からは仲地会長他9名、沖縄キリスト教短期大学からは友利学長はじめ、先生方、キャリア支援課の方を含め10名が参加しました。

冒頭、仲地会長より「ネットニュースの『子どもがなりた職業ランキング』に保育士がランキングされていました。マスコミで一部の保育園や保育士による不祥事や事故、処遇についての報道がありますが、その影響なく上位にランキングされた背景には、保育士と答えたその子ども達が保育園時代に非常に良い影響を受けた保育士に出会っていたからなのではないかと思います。あのような保育士になりたいという幼心に感じた純真な思いを抱き続け夢を実現させる。とても崇高なことだと思います。本日は、まさにその保育士になるべく、日々勉強に取り組む学生を養成し、私たち保育園現場に送り出してくださる沖縄キリスト教短期大学さんと今ある現状や課題に向き合い、有意義な話し合いの時間となるよう切に願っています」との挨拶がなされました。

続いて友利学長より「今日は、お忙しい中出席下さり感謝申し上げます。保育に関しては制度が新しくなり、大変ご苦労もあると思います。本学として保育士になりたいという学生と真剣に向き合い、その結果多くの学生たちがたくましい保育士へと成長しています。それは現場の先生方のご協力あってこそ。現場とのミスマッチなどがメディアで報道される中で様々な計画を模索していると思いますが、このような連絡会で改善点などを見出し、連携できればと思っています。」とのご挨拶がありました。

沖縄キリスト短期大学から就職に関する報告として、卒業生121名のうち、就職決定111名、私立保育園68名、就職希望者が93.4%と過去3年間で一番高くなっているとの就職についての説明がありました。キリ短からの要望として、実習生の昼休みの確保について多く意見が出されました。昼休みを確保することはとても重要であり、緊張している実習の中で、気持ちを休めるためにも必要である。ストレスや疲れ等で本人が潰れてしまっはいけない。その日の振り返りを行い、自己課題をみつけるために大切な時間である等のお話がありました。

私保連からは、保育現場では保育士不足の場合もあり休憩が取れていないこともあるのではないかと。しかし実習生への対応については各

園で配慮できるのではないかと、という意見があり、実習期間に多くの学びを得て欲しい思いはどの園も共通することであるため、実習生のお昼休み確保については各園配慮していきたいとお話がありました。又、その他に、実習前にぎょう虫検査を行うべきか、検便についてはどうか、日誌の後ろに保育士とのやりとりやコメントを記入するスペースを設けても良いか、実習期間中は、同じクラスに配置して欲しいなど具体的な質問や要望が出され、その都度、私保連側から回答を行いました。さらに感染症についても質問があり、麻疹、風疹のり患歴について、感染症を実習先に持ち込まないようにするために、実習前にワクチン接種を義務付けるべきかなど質問があり、保育園現場でも職員の患歴を把握している等の現状を伝え、持ち帰り検討となりました。また、沖縄キリスト教短期大学側からは、実習生から休憩時間についてのエピソードが紹介され、休憩時間に保育士の方とのコミュニケーションが図れた、教材作りを一緒に行った、コーヒーを飲んでリラックスタイムを作ってもらえた等、実習だからこそ学べる時間ができ良かったとお話がありました。さらに休憩時間については、保育園側から「休んでいいですよ」という一言で実習生はとても救われると思うので、そこは意識して欲しいとのご意見がありました。実習においての具体的な要望や、質問、意見などが双方から活発に出され、働きやすい職場づくり、保育士の現状等の情報交換をし、互いに連携を図り、保育者育成に力を尽くしようとの思いを共有することができました。



さがり花を丁寧に裂いて、そうめんに見立てるMさん。その後タライの水に浮かべて流しそうめんごっこが始まった。水に浮かべた、さがり花に興味を示し、他の子どもたちもきて、「そうめんみたいだね」「そうめん、ぐるぐる回す」と会話しながら遊びを展開している。夜にしか咲かないさがり花の咲いているところを子どもたちは見たことがないが、朝になると散ってしまったさがり花で「そうめん」をイメージする子ども達の感性も、ほのかに香るサガリバナも私の心を豊かにしてくれる。

(港川保育園 島袋 夏乃子)



令和元年度(公社)全国私立保育園連盟 「国へ向けた署名・カンパ運動」について

予算対策部長 田仲 雄二

会員の皆様におかれましては平素より当連盟活動にご理解いただき、とりわけ「国へ向けた署名・カンパ運動」におきましては毎年度、格別のご尽力・ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、待機児童問題が大きく国会でも取り上げられ子ども・子育てへの関心はかつてないほど高まりつつあります。しかし、待機児童解消の目途も見えず深刻な保育士不足や、保育の受け皿整備を急ぐあまり多種多様な保育施設を乱立させ、突然の事業休止や保育の質の低下など今私たち保育者を取り巻く環境は予断を許さない状況です。このような状況下にあっても我々一般社団法人沖縄県私立保育園連盟は、児童福祉法24条1項(市町村の保育実施義務)を礎にすべての子どもたちが真に安心して育ち、育てられる社会を実現するため、よりよい成育環境と、家庭や地域における子育て支援の推進を目指し予対活動や、研修活動など組織活動を充実させています。その一環として今年度も「国へ向けた署名・カンパ運動」を展開していきます。全国私立保育園連盟は公益社団法人(保育団体)としての署名活動を行っており、その方法は各組織の声を多く要望内容に反映されるよう取り組んでいます。各地方組織で要望内容(下記参照)を検討しそれを3月末日までに各ブロック(九州ブロック)で集約し、ブロックで集約された要望内容を全国私立保育園連盟予算対策委員会にて内容を審議し都市部のみならず地方が抱える諸課題についてもなるべく網羅できるように検討されています。様々な施設類型が増えるなか、これまで以上に24条1項における市町村の保育実施義務を堅持し子どもの権利保障を共に訴えるため「国へ向けた署名・カンパ運動」にご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

沖私保連 2020年度保育関係予算関連要望事項について

1 【給食材料費についても公定価格に含め保障していただきたい】

2019年10月より幼児教育・保育の無償化が実施予定であるが、それに伴い給食食材費実費徴収が始まる。現在、原則施設単位での徴収の方向性が示されているが徴収を市町村で行うよう要望するとともに、やはり保育における給食提供の重要性に鑑み、しっかり公定価格に含めて国が保障するよう継続的に要望していく。

2 【調理員等の配置基準の見直しをしていただきたい】

乳児保育普及に伴う離乳食対応、アレルギー児への代替食対応等、昨今の調理現場を取り巻く環境は劇的に変化してきている。しかし調理員の配置基準の見直しはされていない。給食提供の安心・安全に関わることなので早急な見直しが必要。

3 【保育士が就業中8時間のうち2時間程度事務整理や会議・休憩等のできる時間を保障していただきたい】

保育所保育指針の改訂や、キャリアアップ制度の導入等により、さらなる保育の専門性が重視されているが、実際の保育士配置基準は大幅な見直しはされておらず、労働基準法に定める休憩もなかなか保障できない現状もある。早急に改善する必要がある。

4 【ワークライフバランスを保障するためすべての保育士等に完全週休2日制を保障していただきたい】

新制度下においても、児童福祉法24条1項は守られた。24条1項では主語に「市町村は…」とあり、述語は「保育所にて保育を行わなければならない。」となっており市町村の保育実施義務が記されている。その委託を受けて市町村の保育実施義務を補てんしているのが認可保育園であり、公立職員同様完全週休2日制を保障できる配置基準を求める。

5 【幼稚園や認定こども園に認められている加算(チーム保育加算条件の撤廃、学級編成加算、副園長加算等)を早急に保育所にも認めていただきたい】

チーム保育加算が、職員の平均勤続年数15年以上から12年以上に改善されたことは評価されることだが、引き続き改善されるよう要望する。財源が限られている中、新制度施行前消費税増税分を財源とする1兆円のパッケージに係る保育制度改善内容が幼児教育・保育の無償化実施のために後回しにならないよう要望する。

6 【“技能・経験に着目した更なる処遇改善(処遇改善Ⅱ)を見直ししていただきたい】

“技能・経験に着目した更なる処遇改善(処遇改善Ⅱ)は、これまでみんなで一緒につくり上げていくという保育の良さが失われ職員間の分断や階層化につながっている。そうではなく、これまで国家資格である保育士が果たしてきた社会的役割を評価し、まずは全業種の女性労働者との平均賃金の差4万円を埋め、全ての保育士が専門職として自信をもって働き続けるよう見直しを求める。

保育士確保には、賃金面での処遇改善と同時に、現場の業務の軽減化を進めて離職防止や新たな保育需要に対応する保育士確保に向け早急に改善すべきです。

第17回 私保連まつり

めざそう! どの子も輝ける社会の実現を
築こう! 子育てを楽しむ文化を～

令和元年
11月2日(土) 午前10時～午後4時

場所 うるま市民芸術劇場(燈(あかし)ホール・響(ひびき)ホール)
生涯学習・文化振興センターゆらてく

多くの皆様のご参加をお待ちしています!

第17回 私保連まつり

めざそう! どの子も輝ける社会の実現を
築こう! 子育てを楽しむ文化を～

令和元年
11月2日(土) 午前10時～午後4時

場所 うるま市民芸術劇場(燈(あかし)ホール・響(ひびき)ホール)
生涯学習・文化振興センターゆらてく

●イベント内容

- ・オープニングエイサー
- ・記念式典
- ・新風「琉球創作演舞」
- ・私保連のあゆみDVD上映
- ・現代版組踊「肝高の阿麻和利」
- ・記念講演 金子耕式氏 演題:「この時代の家庭と子育てに必要なこと」
- ・ピエロ(てんきゆうさん)
- ・園の逸品展示
- ・小さなふれあいコーナー
- ・お楽しみコーナー
- ・うるま市観光物産協会屋台など

園児:「先生～きょうのデザートなに?」 保:「今日は、梨(ナシ)だよ～」
園児:「え～～今日は無しなの?」
梨ではなく、無しだと思ったようです(笑)

4歳児Sさん(連絡帳より)ノホームセンターで買い物をしていたら、赤レンガを見つけたSさん、
「ママ、パパ見て～!」「これ、3びきのこぶたのレンガだよ!」ここで買ったんだね。それじゃあ、Sたちも買ってからレンガの家
つくる～と言ったそうです。

クリスマス前の3歳児Hさんノ保:「もうすぐクリスマスだね」H:「Hさあ、サンタさんがきたらサンタさんにコーヒーあげる。
サンタさんいそがしいからつかれてるでしょ!おかしはなにあげようかな～」と話すHさん、優しくてかわいいHさんの言葉に心が
ほっこりしました。

プールあそびにてノプールあそびでペットボトルで作ったシャワーから沢山のお水が出ているのを見て、「わあ、みずのドレスみた
い～!」と可愛い発想のNさん(4歳児)でした。

Rさん(1歳児)ノトイレに座っているRさんに先生が「し～」と声をかけると、口元に人差し指をくっつけて、真剣な顔で「シート」
と言っていました。・・・「しー」違いなんだけどな(笑)

3歳児クラスにてノ(畑の野菜の観察をしていると)「葉っぱにゴーヤーがかくれんぼしているよ～」と話したり、ぶくっと小さなナ
スの実が生えているのを見て、「ナスのおしりが見えてるよ」と野菜の成長を楽しみにしている子ども達です。子どもたちの発想に
思わず笑みがこぼれてしまいました。

3歳児ノお弁当会に嬉しそうにお弁当を持っているSくん 保:「おいしそうなお弁当だね。Sくんのお弁当ちょうだい」 S:「Sは
小さいからお母さんが作ってくれたんだよ。先生は大きいでしょ、だから自分で作って」と言われ、思わず笑ってしまいました。

5歳児ノ「秋ですよ」の絵本の読み聞かせの後、A:「いつになったら秋は来るの?」 保:「トンボが来たら秋かな」 B:「トンボ見
たよ!もうすぐだね!」 A:「たのしみ～!」

収穫したゴーヤーが給食に登場!ノ F:「わーい!ゴーヤーだ!!ゴーヤー大好き。おかわりしよう～っと」 R:「ねえせんせい、
ゴーヤー食べるとお肌すべすべになるってお母さんが言ってたよ」 F:「ほんと?」 保:「そうだよ!FくんやRくんはお肌すべす
べだからいいはずね～うらやましいなあ。先生もすべすべになる為に頑張って食べないとね」
R:「そうだよ!せんせいはいっぱいいっぱい食べないとね!」 保:「・・・」子どもって本当に正直ですね(汗)

子どものつぶやき



沖私保連の動き

7月

- 1日(月) 研修部役員会
- 3日(水) 保育協議会・青年会議・総務部役員会
- 5日(金) 青年会議勉強会
- 8日(月) 三役会
- 9日(火) 理事会
- 11日(木) 第6回九州保育三団体・九州理事会
- 25日(木) 予対部会勉強会
- 26日(金) 広報部会
- 29日(月) 研修部会三役会
- 30日(火) 九州私保連・橘原先生激励会

8月

- 5日(月) 三役会・研修部会
- 6日(火) 理事会
- 9日(金) 総務・青年会議会議
- 19日(月) 会計指導
- 26日(月) キリ短連絡会・県子ども子育て会議
- 27・28日(火・水) キャリアアップ研修(乳児保育)
- 29日(木) ～ 調査部長会議

9月

- 2日(月) 大会運営委員会
- 4日(水) 会計指導
- 7日(土) 保育研究大会
- 9日(月) 三役会
- 10日(火) 理事会

10月

- 3日(木) 会計指導
- 6日(日) 県合同保育就職説明会
- 7日(月) 三役会
- 8日(火) 理事会
- 25日(金) 広報部会
- 27日(日) 県合同保育就職説明会

秋の風景

園庭にて

ゴーヤーはおいしいけどにがい!

一人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃん家へお弁当(給食)の配達

収穫したゴーヤーが給食に登場!

園長先生の「ふうせんねこ」の読み聞かせ。最高の笑顔の1歳児

芋ほり

セミ取り

編集後記



今号も多くの保育士の皆さんの思いが届けられた。誌面を通して、読んで下さる方へその思いが届きますようにと、心を込めて編集作業を行った。誌面作りや記事集め、文章作成に悩む日々だが、部員の皆さんと力を合わせ充実した誌面作りを力をつけたい。原稿作成に当たり、過去や現在、そして未来に向け自身の気持ちに合わせた保育士の皆さんに感謝の気持ちで一杯だ。次号も「保育士の声」を募集中。寄稿お待ちしております。(理子)

「保育士の声」の原稿を読む度に保育士の皆さんに頭が下がります。子どもに対する愛情と責任感。仕事に対する誇り等。保育園は保育士に支えられていることを有難く思う。(F・N)

校正作業を通して子ども達の為に日々奮闘している保育士さんの思いを知ることができた。又、子どもたちのつづやきを受け止めている保育士さんと子どもとの姿を想像し、ほっこりさせて頂きました。(M・Y)

無償化の波に翻弄され、現場の声を行政に届けたり、要請のための運動を起こしたりと、何かと忙しかった昨今。久しぶりの広報部会に出席し、部長、部員の皆さんの穏やかな雰囲気と、誌面に載せる子ども達の写真やつづやきの数々に、今ようやくホッと一息つくことができたような気がします。10月を迎え、無償化による課題等が浮き彫りになれば、また国や行政に働きかけていくことになるでしょう。いつも温かな広報部会は、その間のしばしの休憩の場です(^ ^) (モリモリ)

他園の保育士のさまざまな想いから自身の成長が感じられる保育士になって欲しいと思った。フレーフレイ保育士!! (T・O)

保育士の意見には感動しました。いつまでも今の気持ちを持っていてください。(C・T)

部会長の手作りケーキ、部員の差し入れケーキをおいしく頂きながら原稿に目を通して頂きます。保育士も頑張っているの、園長も頑張るゾー!! (m・m)



幼い胸に美しい夢と感動を

劇団 飛行船

<http://www.hikosen.co.jp> ©CIS-HIKOSEN

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-7-3-4F Tel. 06-6364-3769

23人乗 8-10分 送迎車

マイクロバス レンタル&リース専門店

マイクロバスのことなら何でも相談ください。

★マイクロバス29人乗り(例)
①1日/38,000円(税別)
②1ヶ月/220,000円(税別)

幼児送迎バスもレンタルできます。

(一社)沖縄県レンタカー協会正会員

県庁裏からトラックバスまで、最良のレンタルサービス 0120-66-2255

てい〜だレンタカー 株式会社 リード 〒904-2142 沖縄県沖縄市豊原102655
TEL.098-923-2123

りゅうせき フロントラインで訪問保守 はじめました!

CoDMON 保育園業務支援システム **コードモン**

園務の効率化! 保育園の課題ICTで解決!

保護者への一斉連絡 登降園管理 園行事写真販売 職員シフト作成 指導案日誌作成

全国導入実績 **3,000園以上**

株式会社りゅうせきフロントライン CoDMON 正規代理店

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客 4-20-1 (担当: 儀保) TEL. (098) 874-6665

中 縄 バージンブック 砂場美人

【取扱い】 絵本、砂場メンテナンス、保育用品、室内・園庭遊具など

♪なんでもご相談ください♪

TEL/FAX 098-927-6433

沖縄科学教材社 〒902-0073 那覇市上間366-1 担当: 島袋 康平

AIG AIG 損保

園児総合保障制度

キッズガード

(商品名: 子ども総合保険)

健やかなお子様の成長のために...

☆その他、施設長・職員の皆さまへの福利厚生保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG 損害保険株式会社

沖縄支店: 〒900-0015 那覇市久茂地 1-12-12
ニッセイ那覇センタービル 3F
TEL: 098-862-2174 FAX: 098-863-0960

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等

(株)盛厨房設備 リサイクル厨房館

〒901-2122 浦添市勢理客 2-15-1
TEL: (098) 878-3182 FAX: (098) 874-2405

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所
TEL.098-889-4339 FAX.098-889-1808
✉ okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱: 幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

RICOH
リコー・ジャパン株式会社

風邪の予防に アロマ ブリーズブレンド 人気 No.1



お客様の声 (県内保育園様より)

保育園でブリーズブレンドを焚いています。インフルエンザ流行が聞こえ出したのですが、当園では今日現在インフルエンザの発症がないのです。アロマの効果すごいです。

販売価格(税込)

10ml **3,080円** / 30ml **7,150円**

*私保連割引をご用意しています。

詳しくは、下記担当者までお問い合わせください。

沖縄アロマ ペタルーナ

TEL.098-943-6550

FAX.098-861-5177

<http://petaluna.com/> (担当: 小川、屋宜、伊佐)

40th Anniversary 40年 あなたの「いいね!」を目指して

沖縄情報システム株式会社

CoDMON 正規代理店 私立連推薦 ICTシステム 保育園・保育所向け給食管理システム キッズヘルプ360

全国導入実績 3,800園以上 県内導入実績 150園以上 保育料計算・登降園管理・指導案/日誌作成 保護者連絡など園の課題解決[CoDMON]で!!

TEL:098-897-3113 担当: 仲座・小嶺

未来の子供たちへ 絵本が育てる子供の心 **チャイルドブック**
明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市長堂 144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635



園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

公益社団法人全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度
(総合生活保険(こども総合補償))です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

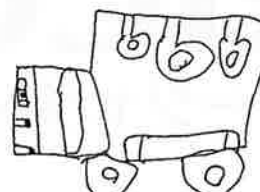
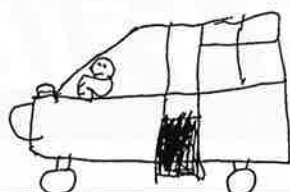
〈連絡先〉 公益社団法人全国私立保育園連盟指定
東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害
保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要について
ご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。
詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする
保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険
会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要
事項説明書」をよくお読みください。



18-TC01976 2018年11月作成